

2015 年 1 月～2025 年 10 月に脳腫瘍の治療を受けた 患者さんおよびご家族の方へ

研究課題：代謝とエピゲノムに着目した悪性脳腫瘍の分子病理学的解析

杏林大学医学部付属病院および医学部病理学教室では、「代謝とエピゲノムに着目した悪性脳腫瘍の分子病理学的解析」の臨床・基礎研究を実施しております。この研究は、杏林大学医学部倫理委員会の審査を経て、医学部長より許可を得たうえで実施されるものです。通常の診療で得られた過去の記録や試料を用いるため、患者さんへの新たな負担は一切ありません。

この研究に関するお問い合わせやご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

1. 研究の対象

2015 年 1 月～2025 年 10 月に杏林大学医学部付属病院で脳腫瘍の治療を受けた方

2. 研究期間：倫理委員会承認後～2027 年 3 月 31 日

3. 研究の目的

脳腫瘍は現代においても有効な治療法が確立されていない希少がんの一つです。杏林大学医学部病理学教室は当院の病理診断を担っており、脳腫瘍が発生する機序を臨床および基礎研究を通じて解明しようと試みています。この研究では、手術の際に摘出された脳腫瘍の病理組織標本を用いて、脳腫瘍の形成に重要な役割を果たすタンパク質について検討します。

4. 研究の方法

脳腫瘍の病理組織標本を用いて免疫組織化学的に検討します。

5. 研究の実施体制

研究機関名：杏林大学

研究責任者：杏林大学医学部 病理学 教授 柴原 純二

研究分担者：杏林大学医学部 病理学 助教（任期制） 鬼塚 裕美

試料・情報の管理について責任を有する者：杏林大学医学部長 平形 明人

6. 個人情報の取り扱いについて

この研究で取り扱う試料・情報は個人情報を削除して、すぐに個人を特定できないように加工して管理します。その個人情報を復元できる情報（いわゆる対応表）は個人情報管理者が保管します。個人情報を特定できないように加工した情報は電子情報として保存し、保管期間経過後、復元不可能な状態で廃棄します。

研究に関わる関係者は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また、関係者は、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。

7. 研究の資金源及び利益相反

この研究は、杏林大学医学部講座研究費を使用して実施します。特定の企業からの資金等の提供は受けておりません。また、この研究に係る全ての研究者の利益相反はありません。利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。

8. お問い合わせ先

この研究に関するご質問等がある場合や研究への参加を中止したい場合には下記連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者の個人情報の保護及び研究の独創性確保に支障がない範囲で、研究計画書及び関連資料を閲覧頂くことも可能ですのでお申し出ください。

また、研究に試料・情報が用いられることについてご了承いただけない場合は研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

杏林大学医学部 病理学 鬼塚 裕美

〒181-8611 東京都三鷹市新川 6-20-2

Tel : 0422-47-5511

Fax : 0422-40-7093